

群馬損保会長がラジオで交通事故防止を呼び掛け

～自転車事故防止や事故多発交差点について注意喚起～

日本損害保険協会関東支部群馬損保会（会長：遠藤 英嗣・あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 群馬支店長）では、ラジオ高崎が主催する「交通事故ゼロをめざして」交通安全運転キャンペーンに協賛し、「秋の全国交通安全運動」の初日となる9月21日（木）に、遠藤会長自らが同局のラジオ番組に生放送で出演し、交通事故防止を呼び掛けました。

2022年中の群馬県の都道府県別人口10万人当たりの交通事故発生件数は、ワースト2位と深刻な状況ですが、中でも、中高生の通学時1万人当たりの自転車事故件数が非常に悪く、2022年の都道府県ランキングでは、中高生ともにワースト1位、特に高校生は9年連続と不名誉な記録を更新しています。

今般のラジオ出演の中で、遠藤会長からは、自転車事故の防止と事故への備えをメインテーマとして、自転車の安全な乗り方とルール、交通事故とその責任について触れつつ、群馬県では、一昨年4月から自転車保険への加入が義務化されたことを踏まえ、自転車事故への備えとして、「個人賠償責任保険」と「傷害保険」の概要とその必要性について分かりやすく説明しました。

続いて、交通事故が発生する場所の約6割が交差点と言われていることから、地元高崎の事故多発交差点はどこか？というパーソナリティからの質問に対し、9月14日に公表された最新データに基づき、緑町交差点、京目町交差点、辻久保交差点などがワースト交差点であり、詳しくは、損保協会のホームページ「全国交通事故多発交差点マップ」をぜひご覧いただきたい旨、回答しました。

最後に、本日より始まる「秋の全国交通安全運動」の機会に、家庭や学校、職場で交通安全について話題にすることで一人一人の心掛けは変わってくるはずであることや、ドライバー、自転車利用者にはいま一度、安全運転を十分に心掛け、歩行者を含むすべての方々に交通事故に気を付けていただきたいとのメッセージを伝え、番組を終了しました。

群馬損保会では、今後も引き続き、行政・関係機関等と連携して、中高生の自転車事故ワースト1脱却に向けた啓発の取組みを推進していきます。

【スタジオの外から見たやり取りの様子】



【スタジオの中から見たやり取りの様子】

